

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	良く なっている やや良く なっている	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新生活シーズン本番を迎え、需要が大きく高まっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今月中旬は、ホワイトデー需要でかなり盛り上がった。春休みに入り、人出がかなり増え、商店街全体が賑わっている。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・昨年は駆け込み需要による大幅な売上増の実績があったので、本年の売上が前年比プラスになることは難しい。ただ、株高や大手企業の賃金増で消費マインドはわずかながら上がりつつある。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・販売量が前年より良くなっており、顧客動向が少し活発になっている様に感じられる。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・客単価が上がり始めており、なかでも、昼食の単価が上昇している。サラリーマンの昼食の単価は低い状態が長く続いていたが、今月は力強い。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	先月から予約が増えており、3～4月は大きく伸びると予想している。北陸新幹線開通の影響が落ち着き、関西や中国方面からの観光客が四国へ流れてきているのではないかと。
		タクシー運転手	来客数の動き	・歓送迎会が増えているようで、街の様子も以前より多少良くなっていると聞く。お遍路の仕事も少しずつ増えてきている。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・3月の売上は、前月比16%増、3か月前比3%増、前年比では横ばいとなっている。3月は本場開催が23日と多く、一定の売上は確保できた。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・春の陽気に誘われ、人出も多くなってきている。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	単価の動き	・価格に対して敏感になっている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・送別用贈答品は例年通りの動きで、必要なものだけを購入する傾向にある。ただ、少しなら予算をオーバーしても1ランク上の商品を購入してもよいというお客様が、去年より多かったように感じる。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	販売量の動き	・メーカーや卸業者から売上が悪いと聞く。消費者は専門店へは行かず、量販店へと流れているようだ。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子	・駆け込み需要が大きかった前年と比べ、売上はよくない。値上げ等の影響もあって、客単価は厳しい状況が続いている。
		スーパー（財務担当）	販売量の動き	・3月中旬以降、前年割れの状態になっているが、生鮮食品は好調である。
スーパー（統括担当）		お客様の様子	・来店客数の変化はほとんどなく、販売量は若干減っている。	
コンビニ（店長）	販売量の動き	・今月の売上も昨年の増税以降変わらず、10%前後のマイナスが続いている。		
コンビニ（総務）	来客数の動き	・客数は前年割れの状態が続いている。		
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・昨年と比べて、来客数は少ない。また、販売量の動きもあまり良くない。		
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・今月前半は天候不順等の影響で振るわず、後半も昨年のような駆け込み需要がない分落ちている。		
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・2月には上向くと思われた新車販売もさほど伸びず、期待外れとなった。		
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・3月の新車受注は昨年を上回っている。昨年3月の受注分は、納車が増税後となることが読み込まれ、減少していた。		
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・期待していた自動車税改正に伴う駆け込み需要はなかった。自社での期限付きの販売施策による需要増で3月の届出実績は前年並みとなるが、当月受注分は良くない。		
乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・2月と比べ、新車受注の動きが少し鈍くなり、年々悪くなってきている。四国の販売店の数字も前年と比較すると悪くなっている。		
その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	お客様の様子	・昨年3月の駆け込み需要による特殊要因を除くと、良くも悪くもない状態で推移している。		

	その他小売 [ショッピング センター] (支 配人)	販売量の動き	・ 昨年は駆け込み需要で非常に良く売れたため、今月 は評価が難しい。	
	通信会社 (企 画)	お客様の様子	・ お客様の反応は少し良くなっているが、サービス 内容の変更による効果と考えられる。	
	通信会社 (支店 長)	販売量の動き	・ 3月は最大の商戦期であるのに、想定していたより 販売が盛り上がらない。	
	美容室 (経営 者)	お客様の様子	・ 転勤などで引越した顧客が多かった。	
	美容室 (経営 者)	お客様の様子	・ お客様の来店サイクルが重なって、一時的に来客 数・客単価とも上向いたが、全体的には伸び悩みの 状態が続いている。	
	設計事務所 (所 長)	お客様の様子	・ 投資が多いのは、医療・福祉分野に限られている。	
やや悪く なっている	百貨店 (営業担 当)	単価の動き	・ 今月も、販売量・販売単価とも下落してきている。	
	百貨店 (販売促 進担当)	販売量の動き	・ 食品は堅調に推移しているが、主軸の衣料品は前年 の駆け込み需要を差し引いても、厳しい状況が続いて いる。	
	スーパー (店 長)	販売量の動き	・ 昨年の駆け込み需要の反動により、今年は全体的に 販売量が鈍っている。3か月前と比べ、景気が悪く なっている実感がある。	
	旅行代理店 (支 店長)	お客様の様子	・ 北陸新幹線開業や山陽新幹線全通40周年効果等で国 内旅行の申込は比較的堅調であるが、度重なる海外で のテロの影響で海外旅行を手控える顧客が多い。	
	ゴルフ場 (従業 員)	来客数の動き	・ 昨年に比べ、来場者数・週末の予約状況とも減って いる。	
悪く なっている	一般小売店 [書 籍] (営業担 当)	お客様の様子	・ 昨年に比べ、売上は落ち込んでいる。お客様は買わ なくていいものは絶対に買わないという感じになって いる。	
	衣料品専門店 (総務担当)	販売量の動き	・ 今月の売上は、昨年の駆け込み需要の上昇分以上の マイナスが生じている。週末の天候不順による来客 減、気温が低く推移した前半の春物商材不振が響き、 売上が伸びない。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・ 3月は異動・卒園などで人の動きはあるものの、例 年のような忙しさはない。	
企業 動向 関連 (四国)	良く なっている	食料品製造業 (商品統括)	それ以外 ・ 春闘の報道が、上がって当然のイメージを印象づけ ている。	
	やや良く なっている	鉄鋼業 (総務部 長)	受注価格や販売 価格の動き	・ 販売量は横ばいであるが、販売価格に円高時からの 値戻し効果が見え始めている。
		電気機械器具製 造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・ 太陽光発電は中型の受注は途切れていないし、受注 残もある。
		輸送業 (経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・ 確実に単価は上がっており、これから景気は上向く と考えている。
		通信業 (部長)	受注量や販売量 の動き	・ 春商戦も本格化し、光関連の新たなサービスも開始 され、コンシューマ市場における受注は活発になって おり、法人関連の受注もやや良くなってきている。
		金融業 (副支店 長)	受注量や販売量 の動き	・ 建設土木工事関係の受注量が、若干増加傾向にあ る。特に、防災関連の工事が堅調に推移している。
		公認会計士	取引先の様子	・ 今月の決算書などによると、売上・利益とも前年を 上回っている企業が、若干増えてきている。
変わらない	農林水産業 (総 務担当)	受注量や販売量 の動き	・ 市場入荷量が少なめに推移しているため、単価高で 推移している。	
	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・ 年度末で、ギフト関係の受注が増加している。しか し、仕入価格が円安の影響で高騰しており、採算が取 れない。	
	電気機械器具製 造業 (経理)	受注量や販売量 の動き	・ 年度末予算消化型の取引先に係る受注増の傾向はあ るが、当該季節要因を考慮すれば、景気の上下動は見 受けられない。	
	建設会社 (経理 担当)	受注量や販売量 の動き	・ 受注高は少し増えているが、景気は変わっていない。	
	建設業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・ 年間を通して公共事業を一定量確保することが出来 た。ここ数か月でも売上は順調に推移し、事業量が安 定している。	
	建設業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・ 公共・民間工事とも、受注が想定以上に少ない。	
やや悪く なっている	繊維工業 (経営 者)	受注量や販売量 の動き	・ 今年の売上は駆け込み需要があった昨年比で約10% 落ちているが、一昨年比では2~3%ほど伸びてお り、景況感の悪化はほとんど感じない。	

	輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・3月は年度末で取扱物量が増大する繁忙期であるが、本年は例年に比べ著しく取扱物量が落ち込んでいる。特に四国では、家電など耐久消費財や、食品等の非耐久財も取扱物量が減少しており、荷主からは消費者が慎重にモノを選び、廉価版商品を必要な量だけ購入する傾向にあるとの声が聞かれる。	
	輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・引越の商戦時期であるが、受注件数および受注額が大幅に減少している。特に単身者向けの引越パックの受注数量の減少が著しい。また、円安の影響で、輸入が激減している。	
	悪くなっている	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	
(四国)	やや良くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・専門的な業種の求人が増加傾向にある。求職者の減少が目立つ。
		人材派遣会社（営業）	採用者数の動き	・人手不足も緩和され、少しずつ求職者の動きが出ている。高校、大学の新卒採用の就職率も上がり、雇用改善により、次第に経済も活性化されていく。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・これまで人材募集を出していなかった企業の求人情報を見かけることが増えている。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・来期に向けた人材配置・採用計画などの準備スピードが例年よりも早く、好景気を反映している。
変わらない	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・決算期であり、募集広告は件数も多くおう盛であるが、営業広告は伸びず、販促費用の投下に慎重な姿勢を崩していない。開店など新規案件も乏しい。	
	職業安定所（職員）	それ以外	・2月の月間有効求人倍率は、1.20倍で3か月前と変わらない。	
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・起業の話も聞くが、多数の離職者を伴う企業の撤退などが予定されており、景気が好転するとは思えない。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者は前年比20.9%増で、ここ2か月は増加している。特に、自発的離職者の若者からの申込が目立っている。	
	民間職業紹介機関（所長）	周辺企業の様子	・従業員の平均年齢が上昇し、企業では若い世代を採用したいと思っているが、65歳定年制の導入などで新規採用及び中途採用を控えているところが多い。定年延長が長期的に見て、企業にどのような影響が出るのかを見極めたい。	
	やや悪くなっている	-	-	
	悪くなっている	-	-	